

令和5年度 第2回川崎市教科用図書選定審議会 議事録

開催日時：令和5年7月3日（月）午前10時00分～午後3時30分

開催会場：川崎市総合教育センター第4会議室ほか

出席委員数：川崎市教科用図書選定審議会委員15名（欠席委員1名）

（事務局）

本日は、大変お忙しいところ御出席いただきまして、誠にありがとうございます。
定刻になりましたので、ただいまより令和5年度第2回川崎市教科用図書選定審議会を開催いたします。

私は、本日の選定審議会の司会進行を務めさせていただきます、指導課指導事務係長の新津と申します。よろしくお願いいたします。

この審議会ですけれども、16名の委員で構成されています。本日出席されている委員の数は、3名欠けて13名です。長峰委員は公務の関係で遅れて参ります。また小澤委員は別の公務で欠席です。伊藤委員は所用があり午後から出席になっています。本日出席が13名ですので、「川崎市附属機関設置条例」の第7条第2項に規定する会議の成立要件である「委員の半数以上が出席」されていることを御報告申し上げます。また、第1回の審議会で御承認いただきましたが、この会議は会議の性格上、非公開でございます。本日お手元には資料2-1をお配りしておりますけれども、会議終了後に回収することになっておりますので、ご理解のほどお願い申し上げます。

次に、資料の確認をさせていただきます。本日はお手元のGIGA端末を使って資料を見ていただければと思っています。上のタブのところに次第の資料1と資料2が表示されていると思います。

もし、途中で操作がわからなくなった場合などは、挙手いただければ、係の者が伺って操作します。それからこちらの審議会のクラスルーム内に追加の資料を掲示しております。そこに参考資料に趣意書をのせています。これは教科書会社の編修方針であり、必要に応じて確認いただければと思います。資料2-1は2人に1部、印刷したものを置いております。回収はしますが、メモ等書き込んでいただいても結構です。

続きまして、審議に入る前に、本日の審議手順について、説明させていただきたいと思えます。GIGA端末の資料1を御覧ください。9ページになります。一番下の（5）調査審議の観点となっております。次のページに進んでいただくと、1点目は、ア「学習指導要領との関連」、2点目は、イ「編集の趣旨と工夫」、以下、「内容」、「構成・分量・装丁」、「表記・表現」でございます。この5つの観点に基づき、調査審議をお願いするものでございます。

少し進んでいただいて13ページを御覧ください。こちらが小学校の教科用図書の採択

の手順となっております。

教科用図書の採択にあたりましては、「学校教育の関係者、学識経験者、教育委員等がそれぞれの立場、それぞれの視点から多角的に教科用図書を評価する」というプロセスを経るため、教科用図書選定審議会、調査研究会等を設置し、教科用図書の採択における適正さ、公正さを確保してまいりたいと考えているところでございます。

採択までの流れでございますが、初めに、教育委員会が①で教科用図書選定審議会に対して教科用図書の審議を諮問するとともに、②で調査研究会、③で各学校に対して調査研究を依頼いたしました。依頼及び諮問を受け、各学校では全ての種目の教科用図書に関して④により編集・内容等の項目について調査内容をまとめ、調査研究会に報告しております。また、教育委員会が推薦を依頼し、任命された調査研究員により構成されております調査研究会が、⑤により各学校から報告のあった調査研究をとりまとめ、また、⑥により調査研究を独自にまとめ、教科用図書に係る報告書として作成しております。

次に、この選定審議会での審議になりますが、選定審議会は、教育委員会が推薦を依頼し、委嘱した学識経験者、校長、保護者、及び教育委員会事務局の職員により構成しているところでございます。

選定審議会は、調査研究会からの報告を参考にしつつ、選定審議会独自の立場で審議した上、⑦により審議結果を教育委員会に答申いたします。

教育委員会では、この答申を参考にしつつ、独自の視点で教科用図書を審議し、最終的に教育委員会の責任と権限のもと、教科用図書を採択いたします。

以上が、小学校の教科用図書における採択手順でございます。

続きまして、教科用図書の審議手順を御説明いたします。

本日は、次第の2に記載されております、小学校の教科用図書のうち、国語・書写、社会・地図、理科、生活、音楽、図工について、御審議いただきます。

進め方でございますが、各教科とも、今お座りの席において、事務局から、調査研究報告書を説明させていただき、その後、移動していただきまして、学識分科会、校長分科会、保護者分科会の3つの分科会に別れて、御審議いただきます。

最後に、選定審議会の役割について御説明いたします。教科用図書を採択するのは、教育委員会の責任と権限で行われるものでございますので、選定審議会におきましては、あくまでも教科用図書の調査研究を行うという立場でございます。どの教科書がよい、悪いという観点ではなく、教科用図書の内容や構成、表記等が、調査研究報告書において客観的に偏ることなく示されているかなど、教科用図書を調査研究するという観点から、幅広い御意見を賜ることができればと考えております。以上が審議の手順になります。よろしく願いいたします。

それではここから、次第に従い議事に入ります。議事の進行は野田会長にお願いしたいと思います。野田会長よろしく申し上げます。

(会長)

改めましておはようございます。お暑い中ありがとうございます。本日は1日と長い時間になりますがよろしくお願ひします。それではただいまから小学校の教科用図書について、審議してまいります。まずは事務局からお願ひします。

(事務局)

令和6年度川崎市使用教科書につきまして、調査研究員からあげられた調査研究報告⑥と学校からあげられた声をまとめた調査研究報告書⑤について国語、書写、社会、地図、理科、生活、音楽、図画工作の報告をさせていただきます。初めにすべての種目に共通していることについてお伝えします。

報告書⑥1つ目の項目、「学習指導要領との関連」については、学習指導要領の目標、内容等をふまえたものになっています。

では国語科の教科書について報告させていただきます。初めにお手元にあります資料2-1の3枚目報告書⑥国語科について御覧ください。2つ目の項目、「内容」についてですが、東京書籍は会話の仕方や国語のノートの作り方、デジタルノートの作り方等活用できる内容を年度初めに示しています。教育出版は文型、話型、学習用語などの慣用的な知識や身に付けた力を振り返ることができる「ひろがることば」を巻末に一覧で示しています。光村図書出版は、小単元での学びを踏まえて、大単元での学びに臨んだり、二つの領域を関連させたりする単元配列をしています。また、3社とも単元の最後に振り返りを設定しています。東京書籍は身に付けた資質・能力について振り返ることができるように設定されています。教育出版は身に付けた資質の能力や、言語活動の観点から振り返りができるように設定しています。光村図書出版は身に付けた力を知識・技能、試行判断、表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点で振り返りができるように設定しています。次に3つ目の項目、「構成・分量・装丁」についてですが、3社とも身に付ける力を意識できるようにしています。東京書籍は巻末に当該学年と、前の学年で身に付けた力が一覧でわかる、「ことばの力のつながり」を掲載しています。教育出版は巻頭で当該学年で身に付ける力が一覧でわかる「〇年生で学ぶこと」を掲載しています。光村出版は巻頭で当該学年で身に付ける力と、前の学年で学んだことを一覧でわかる、「〇年生で学ぶこと」、「〇年生までに学んだこと」を掲載しています。次に4つ目の項目、「表記・表現」についてですが、3社とも目次で、話す、聞く、書く、読むの領域がわかりやすくなるように工夫しています。東京書籍は、マークで示しています。教育出版はマークと色で示しています。光村図書出版は、マークと色、ことばで示しています。以上報告書⑥について報告させていただきました。続きまして、報告書⑤を報告させていただきます。報告書⑤を御覧ください。2つ目の項目、「内容」についてですが、3社とも言葉に対する関心を高めたり、ことばの力を付けていったりするページを掲載していることなどがあげられます。また、身に付けた力を、日常や他教科に生かせることができるような活動が設定されていることなども挙げられています。例えば東京書籍は、単元の最後に身に付けた力を生かせるように「生かそう」を掲載しています。教育出版では、問いの実生活での定着を図るために、教材に出てきた言葉と関連する言葉を「言葉を増やそ

う」に掲載しています。光村図書出版は、ことばに対する興味・関心を高めるために、「問いを持とう」から学習が始まるようにしています。次に3つ目の項目、「構成・分量・装丁」についてですが、3社とも学習の見通しを持てるようにしていることがあげられます。東京書籍は、見通す、取り組む、振り返るという学習の流れを単元冒頭に示しています。教育出版はそれぞれの単元について、学習の進め方を記載しています。光村図書出版は、「国語の学びを見渡そう」というページを掲載していて、どの単元においても、問い、目標、振り返りの流れで学習が進めていけるようにしています。次に4つ目の項目、「表記・表現」についてですが、東京書籍は、「タテハ」、「コトハ」のキャラクター、教育出版はフクロウのキャラクターが学習のポイントを吹き出しで説明している点があげられています。光村図書出版は、解説、目標、振り返りが、マークで示されていて、どの単元でも意識できるようになっている点があげられています。以上⑤について報告させていただきました。

続きまして、書写の教科書について、国語と同様に報告させていただきます。初めに報告書⑥を御覧ください。2つ目の項目、「内容」についてですが、3社とも毛筆の学習の際に筆使いが理解できるように、動画の二次元コードを付けています。東京書籍は、解説付きの運筆動画やアニメーションの二次元コード掲載しています。教育出版は、運筆動画が見られるように「学びリンク」というマークとともに二次元コードを掲載しています。光村図書出版は解説付きで重要なポイントは繰り返し流れる運筆動画の二次元コードを掲載しています。次に3つ目の項目、「構成・分量・装丁」についてですが、3社とも学習見通しが持てるようにしている点があげられます。東京書籍は、みつけよう、確かめよう、活かそう、振り返ろうという学習過程で構成していて、目次で見つけよう、確かめようがわかるように、二次元コードの動画や、アニメーションで説明しています。教育出版は2年生はつかむ、考える、振り返る、3年生以降はつかむ、考える、書く、確かめる、振り返る、生かす、広げる、と学年に応じて学習過程を変えて構成しています。光村図書出版は、考えよう、確かめよう、活かそう、という学習過程で構成していて、どの単元においても、この3つの過程を意識できるように、「学習の進め方」として掲載しています。次に4つ目の項目、「表記・表現」についてですが、3社とも毛筆の学習において、穂先を朱墨で表した、文字手本を掲載しております。東京書籍と光村図書出版は、墨で書いた文字手本と近くで見比べるように同じページに、朱墨で書いた文字手本を掲載しております。教育出版は墨で書いた文字手本と、違うページに掲載しています。また、学習のポイントについて見ますと、東京書籍はキャラクターの吹き出しや、色分け等を用いて説明しています。教育出版は様々な動物の動作や、擬態を矢印等で説明しています。光村図書出版は、題語やキャラクター、色分け、矢印等を用いて説明しています。以上報告書⑥について報告させていただきました。続いて報告書⑤について報告させていただきます。報告書⑤を御覧ください。2つ目の項目、「内容」についてですが、東京書籍は、良い例と悪い例が提示されていて、比較しながら学習のポイントを設定している点があげられます。教育出版は、成長が感じられるように、教科書に試し書き、まとめ書きの欄を設けている点があげられています。光村図書出版は、1年生の「自

分の名前を書こう」で、保護者からの応援メッセージの欄を設けたり、巻末に保護者の方へのメッセージがあるなど、家庭と連携が図れるようにされている点があげられます。次に3つ目の項目、「構成・分量・装丁」についてですが、東京出版と光村図書出版は、必ず毛筆学習の手本を左に掲載している点があげられます。教育出版は教科書の表紙や扉に、学習と生活のつながりを表している点があげられています。次に4つ目の項目、「表記・表現」についてですが、3社とも筆の運びがわかるように、擬態語などで表現されていることがあげられます。以上⑤について説明させていただきました。御審議のほどよろしく申し上げます。

では続きまして、社会科について報告させていただきます。初めに報告書⑥を御覧ください。2つ目の項目、「内容」についてですが、東京書籍は見開きページに「キーワード言葉」を示したり、技能を習得する「学び方」のコーナーを設けたりしています。また、見方、考え方について囲みを設け、キャラクターとともに掲載する工夫を行っています。身近な事例としては、5年の工業生産の学習で、横浜港の写真を掲載しています。教育出版は、問題解決に活用する言葉をキーワードとして示したり、集める、読み取るといった技能を示した「学びの手引き」のコーナーを設けたりしています。また、見方、考え方をキャラクターの吹き出し等で示し、学習を支援する工夫を行っています。身近な事例としては、6年の政治単元で、向ヶ丘遊園駅の地下通路整備、外国人市民代表者会議について掲載しております。日本文教出版は、各単元でキーワードを設定したり、技能について説明する「学び方、調べ方」コーナーを設定しています。また、見方、考え方コーナーでは、考える際のポイント等について、アドバイスする工夫を行っています。身近な事例としては6年で鎌倉市の日本遺産認定の取り組みを掲載しています。次に3つ目の項目、「構成・分量・装丁」についてですが、東京書籍は一つの単元の流れを、つかむ、調べる、まとめる、生かすと構成し、各見開きページにこれらの言葉を示しています。また、3、4年は1冊、5、6年は2分冊となっています。教育出版は、単元の冒頭には、単元の問いとしての、みんなで作った学習問題、各見開きページには各時間の問いとしてのこの時間の問い、ページの最後に次につなげようを示しています。また、各学年とも、分冊ではなく、1冊で構成されています。日本文教出版は、単元の初めに学習問題を示し、各見開きページには、私たちの問題を示し、単元によっては最後に、さらに考えたい問題を示しています。各学年とも分冊ではなく、一冊で構成されています。次に4つめの項目、「表記・表現」についてですが、東京書籍は学習構成によって見出しの色を変えて学習内容を示しています。教育出版は、6年の歴史学習で白黒写真をカラー化した画像を掲載しています。日本文教出版は、本文を役割ごとに分けて、文字の大きさや、背景色を変えて示しています。以上報告書⑥について、報告させていただきました。続いて報告書⑤について説明させていただきます。報告書⑤を御覧ください。1つ目の項目、「内容」についてですが、3社とも知識及び技能、思考力、判断力、表現力等学びに向かう力、人間性についての観点について、用語の解説や、調べ方や学び方、見方、考え方等のコーナーを設けたり、問題解決的な学習を展開できるようにされていることがあげられます。2つめの項目、「構成・分量・装丁」についてですが、3社とも主体的、対話

的で深い学びに関わる構成として、課題を追究したり、解決したりする学習活動ができるようにしていること、東京書籍は3、4年は1冊、5年は上下2分冊、6年は政治、国際編と、歴史編の2分冊となっており、教育出版と日本文教出版は各学年1冊にしていることがあげられます。3つ目の項目、「表記・表現」についてですが、3社ともユニバーサルフォントを使用して、カラーユニバーサルに基づいた配色にしている点や、学習問題を見やすく、色使い等を工夫している点があげられています。以上社会科の調査報告書⑤と⑥について説明させていただきました。

続きまして、地図の報告をさせていただきます。初めに調査報告書⑥を御覧ください。2つ目の項目、「内容」についてですが、東京書籍は、基本的な地図の読み方を解説するページを設け、キャラクターを活用して説明しています。また、日本の歴史のページでは、時代ごとの世界とのかかわりが読み取れるように、年表と世界地図を掲載しています。意欲を引き出すために、ポップ、ステップ、マップでジャンプを設け、QRコンテンツ内に「頑張るシート」を掲載しています。世界の地図のページでは、その地域の特色がわかりやすくなるように、生息する動物やいろいろな料理の写真を掲載しています。帝国書院は、地図の成り立ちや地図帳の使い方を説明するページを設け、「トライ」のページで確認するなどして説明しています。また、資料のページでは、資料を比較したり、関連づけたりできるように、学習テーマに沿った主題図や統計資料等を掲載しています。3年生向けに巻頭に地図で世界発見や広く見渡す地図を掲載し、意欲を高める手立てとして、「地図マスターへの道」を掲載しています。東京都とその周りの地図では、20万分の1の縮尺で川崎市や二ヶ領用水を掲載しています。次に3つ目の項目、「構成・分量・装丁」についてですが、東京書籍は各ページに、ポップ、ステップ、マップでジャンプを設け地図を活用して、社会的な見方、考え方を働かせるよう構成を工夫しています。また、他教科でも活用できるように、世界の衣装や食事等を掲載しています。帝国書院は、各ページに「地図マスターへの道」を設け、地図を活用して社会的な見方、考え方を働かせるよう構成を工夫しています。また、歴史学習でも活用できるように、江戸時代の町の様子と人々の暮らしを掲載しています。2社ともA4判を採用し、4年間の使用に耐えるように織り込みページ等の加工を行っています。次に4つ目の項目、「表記・表現」についてですが、2社ともにユニバーサルデザインに配慮しています。資料のページの雨温図では、東京書籍では月ごとに雨量図の棒グラフの色を変えており、帝国書院は、降水量の多い月と少ない月の色を変えています。土地の高低を示す凡例では、東京書籍では最多16段階、帝国書院では最多13段階で表現しています。以上報告書⑥について報告させていただきました。続いて⑤を報告させていただきます。⑤を御覧ください。1つ目の項目、「内容」についてですが、2社とも知識及び技能、思考力、判断力、表現力等学びに向かう力、人間性等の観点について、ポップ、ステップ、マップでジャンプや「地図マスターへの道」などを設け、地図に興味、関心をもって学習に取り組めるようにしていることがあげられます。2つ目の項目、「構成・分量・装丁」についてですが、東京書籍は地図に配置されたキャラクターのセリフから多様な視点から考えられる工夫を

していること、帝国書院は、広く見渡す地図や、都市中心部の地図を掲載し、広い視点から細かな視点といった各年に合わせたページ構成としていることがあげられます。二次元コードについては、2社とも地図や動画、クイズなど多様なコンテンツが掲載されていることがあげられています。3つ目の項目、「表記・表現」についてですが、2社とも土地の高低差や土地利用表現の色使い、見出しの掲載について工夫している点があげられています。以上地図の調査研究報告書⑤と⑥について報告させていただきました。御審議のほどよろしく申し上げます。

続いて理科の教科書につきまして、報告させていただきます。初めに報告書⑥を御覧ください。1つ目の項目、「学習指導要領との関連について」は、6社とも学習指導要領の内容等を踏まえたものになっています。2つ目の項目、「内容」についてですが、6社とも学習指導要領解説に裏打ちされる、問題解決の過程をもとに、問題解決を通して、資質、能力を図る工夫をしています。東京書籍は、思考力、判断力、表現力等について、問題解決の過程で働かせる、理科の見方、考え方をキャラクターのセリフで示しています。また、かわさき教育プランに関する内容として、SDGsにつながるページを紹介しています。大日本図書は、思考力、判断力、表現力等について、学年で重点を置く問題解決の力を育成するために、キャラクターの吹き出しやマークを示す工夫をしています。また、かわさき教育プランに関する内容として、理科に関する職業の話題を取り上げる、「サイエンスワールド」や「理科の玉手箱」を設定しています。学校図書は、思考力、判断力、表現力等について、巻頭の「科学の目を育てよう」で、問題解決の流れを示しています。また、かわさき教育プランに関する内容として、理科の有用性を実感できるように、学習内容に関わる暮らしや仕事を紹介しています。教育出版は、思考力、判断力、表現力等について、各学年で育成を目指す、問題解決の力に○年のマークを付けています。また、かわさき教育プランに関する内容として、「科学の窓広がる科学の世界」のコーナーで、学習に関連した図書を紹介しています。信州教育出版は、思考力、判断力、表現力等について、児童が見通しをもって問題解決の過程で課題を追究できるよう、理科の学習の進め方を全学年で掲載しています。また、かわさき教育プランに関する内容として、日常生活の関わりとして、「調べてみよう」のページを設けています。啓林館は、思考力、判断力、表現力等について、対話的、協働的に問題解決するために、問題をつかもう、考察しよう、を設定し問題解決の過程を巻頭に示しています。また、かわさき教育プランに関する内容として、「暮らしとリンク」では、働く人のインタビュー動画を二次元コードで視聴できるなど、キャリア教育に繋がる工夫や学びと日常生活を関連付ける工夫をしています。次に3つ目の項目、「構成・分量・装丁」についてですが、6社ともに、実験等を通して、理科の資質、能力を育成する構成をしています。2つ目の分量・装丁については、第4学年では、最も多いのが教育出版で、233ページ、最も少ないのは信州教育出版で、202ページとなっています。また、判型は、東京書籍と大日本図書の2社がA4判を、教育出版1社がA4変形判を、学校図書、信州教育出版、啓林館の3社が、AB判としています。次に4つ目の項目、「表記・表現」についてですが、6社ともユ

ニバーサルフォントを採用したり、色覚の個人差に対応するよう、配色の工夫をしたりしています。以上報告書⑥について報告させていただきました。続いて報告書⑤について報告させていただきます。報告書⑤を御覧ください。1つ目の「内容」についてですが、知識及び技能については、実験器具の説明や取扱について、どのように掲載されているなどがあげられています。思考力、判断力、表現力等については、理科の問題解決の過程について、どのような場面にどのような言葉で示しているかなどがあげられています。学びに向かう力、人間性等については、学習の見通し振り返りについて工夫している点などがあげられています。かわさき教育プランについては、学習内容と関連付けるコラムや、SDGsとの関連を掲載している点などがあげられます。2つ目の「構成・分量・装丁」についてですが、実験内容と結果を異なるページに掲載する工夫がみられる点、二次元コードを設定している点、教科横断的な学びのページを設定している点などがあげられています。3つ目の「表記・表現」ですが、アイコンやマークで表示している点などがあげられています。以上報告書⑤について報告させていただきました。御審議のほどよろしく申し上げます。

(会長)

学識分科会、校長分科会、保護者分科会の3つの分科会に別れて、御審議いただきたいとします。その前にこれまでの説明や資料について全体に関わる御質問等はございますでしょうか。

(委員)

前は紙の資料であったが、今回GIGA端末を使った理由を教えてください。

(事務局)

一つは市としてデジタル化、会議資料のペーパーレス化を進めておりまして、今回試みとしてGIGA端末で実施しました。一部の資料については、メモを取ることができるよう紙でも用意させていただいているところです。

(会長)

それでは議事進行を一旦事務局にお返しします。

(事務局)

野田会長ありがとうございます。

ここからは各分科会に分かれて、それぞれの立場で御審議をお願いします。まず、学識者分科会はここ第2会議室、保護者分科会につきましては、すみませんが移動いただいて同階第4会議室、学校長分科会は第4研修室に御移動をお願いします。各会場には教科書も用意しておりますので、そちらを御参照いただきながら、調査報告書に対する御意見をいただければと思います。

【分科会審議 休憩】

【再開】

(会長)

小学校の教科用図書について審議を再開します。事務局をお願いします。

(事務局)

生活科の教科書について報告します。初めに報告書⑥を御覧ください。2つ目の項目、「内容」についてですが、7社のうち6社については、巻末で学習方法に関わることや、生活に関わる習慣、身なりについて学習活動に即した資料を掲載しています。違いを見ますと、教育出版と啓林館につきましては、児童の思考を促すツールについて掲載しています。信州教育出版社は体験観光の例のなかで、栽培の仕方や飼育の仕方等を示しています。次に3つ目の項目、「構成・分量・装丁」についてですが、東京書籍は育成を目指す資質・能力を構造化して見えるように知識・技能をビックリマーク、思考、判断、表現をハテナマーク、主体的に学習に取り組む態度をハートマークで示し、単元の内容を構成しています。大日本図書は季節に適した学習活動を展開できるように、栽培や飼育といった内容ごとではなく季節ごとに行う事柄で単元を構成しています。学校図書は、ページの見開きを一つの活動単位とし、思いや願いを持ち活動し、伝えあい、振り返るという流れで構成しています。教育出版は気づく、自分でできる、考える、伝える、挑戦する、自身を持つという育みたい資質、能力を明確にし単元を構成しています。信州教育出版社は、四季をとおして繰り返し直接体験ができるように、児童の学校生活や、地域の行事を一年間の流れの中に位置づけ時系列で掲載しています。光村図書は単元を通して児童の興味、関心を高めるために、一人ひとりがものを作ったり、生き物と触れ合っている様子を、絵本作家のイラストで紹介しています。啓林館は、児童の気付きや願い、思いが次の活動につながるように試行の流れに沿って、わくわく、いきいき、ぐんぐんという流れで単元を構成しています。次に4つ目の項目、「表記・表現」についてですが、7社とも低学年の発達段階を考慮して、漢字にルビを付けたり、上巻の前半部分はひらがなを使用したりしています。違いを挙げると大日本図書については、新出漢字のみルビを使用しています。上巻の巻頭では、7社ともスタートカリキュラムを考慮して、1年の生活の様子を写真やイラストで掲載しています。違いを挙げると、東京書籍と啓林館は巻頭にスタートカリキュラムの具体例を示した、小判のコーナーを掲載しています。以上報告書⑥について報告させていただきました。続いて、報告書⑤について報告させていただきます。報告書⑤の方を御覧ください。1つ目の項目、「内容」についてですが、学び方や調べ方、安全面の約束などを掲載している点、児童の気持ちを表す言葉や気付きを促す言葉を抜き出して掲載している点などに意見がありました。かわさき教育プランについては、多様性を考慮したイラストや写真の掲載について意見がありました。2つ目の項目、「構成・分量・装丁」については、学習の流れを段階的に示している構成について意見がありました。各社について見ますと東京書籍は、導入、学習活動、気付きの質の高まり振り返りや表現という構成になっているという意見がありました。大日本図書は、児童の思いや願い気持ちを絵や文で書き込めるような構成にしているとの意見がありました。学校図書は、児童が自己決定しながら活動が進められる構成になっているとの意見がありました。教育出版は児童のハテナから、感じたことや伝えたいこと、わかったことが広がる構成にしているという意見がありました。信州教育出版社は、信州の地域で育つ子どもが四季を通じてそ

の場所に関わる内容構成になっているという意見がありました。光村図書は、ホップ、ステップ、ジャンプの3段階の構成で、すべての項目を統一しているとの意見がありました。啓林館は、児童の意欲を喚起し直接体験を基に、主体的、対話的で深い学びを実現し、伝えあいや交流の場面の充実を行う構成になっているとの意見がありました。3つ目の項目、「表記・表現」については、ユニバーサルデザインを意識した表記表現について、意見が多くありました。また、信州教育出版社は、縦書きの表記になっているという意見がありました。以上生活科の調査研究報告書⑤、⑥について報告させていただきました。御審議お願いします。

続いて音楽科の教科書について報告させていただきます。資料の⑥、データの場合は25ページになります。御覧下さい。2つ目の項目、「内容」についてですが、2社とも、楽譜の写真や絵を掲載し、技能をサポートするコーナーを設けたり、児童が思考、判断するよりどころとなる音楽を形作っている要素を示したりしています。また、学習に役立つ情報をWEBサイトで見られるよう二次元コードを掲載しています。教育出版は、音楽を形作っている要素の働きの理解を促すために、「音楽のものまとも」を掲載しています。また、児童が思考する内容のヒントとなるよう、「学びナビ」や「学びあう音楽」を掲載したり、音楽の楽しさや美しさにふれるために、体を動かす活動の例をしめしており、曲の魅力について、気付きを書き留めたりすることができるコーナーを設けています。教育芸術社は、曲想と音楽の構造とのかかわりについての理解を促すために、題材のなかに、「見つける」のコーナーを設けたり、キャラクターを用いて、児童の思考を促すヒントや考えるきっかけを示し、その視点で学習を進めるコーナーを設けています。また、学んだことを自分の生活と関連付けるために身の回りの音や地域の音楽、音楽に関わる権利について扱うコーナーを設けています。次に3つ目の項目、「構成・分量・装丁」についてですが、2社とも、冒頭に1年間の学びの見通しを示した学習マップを掲載しています。会社別にみますと、教育出版は、題材を中心となる主要部分と、主要部分を補完する選択可能なオプション部分で構成しています。また、必要な個所に既習の学習を振り返るマークを示しています。教育芸術社は、題材を通した学びを意識し、音楽を形作っている要素の視点で、表現や鑑賞の領域や分野を関連付けた題材を構成しています。また、題材ごとに、見通しと振り返りを行うための学習のまとめのコーナーを設けています。次に4つ目の項目、「表記・表現」については、教育出版は、題材名を見開き左側に縦書きで短文の形で示し、教材ごとに学習目標を横書きで示しています。教育芸術社は、題名を見開き左に〇〇しようという文型で縦書きで示し、教材ごとに学習目標を横書きで示しています。また、歌唱共通教材について見ますと、教育出版は季節感や情景を重視した写真を掲載し、教育芸術社は、我が国の文化や自然環境の保護などの視点からの、コラムや写真を掲載しています。以上報告書⑥について報告させていただきました。続いて報告書⑤について報告させていただきます。次のページ、データで言いますと26ページを御覧ください。1つ目の項目、「内容」についてですが、2社とも教材ごとに共通事項を音楽を形作っている要素を示している点や、我が国をはじめ諸外国の

様々な音楽を掲載している点、他教科等と関連する教材の掲載について意見があげられていました。2つ目の項目、「構成・分量・装丁」については、題材の構成について、教育出版は、主要な教材と選択可能なオプションの教材を組み合わせる構成、教育芸術社は、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の各領域や分野を関連付けた構成といった点があげられていました。3つ目の項目、「表記、表現について」ですが、教育出版は、豊富なカラーのイラストを掲載している点、教育芸術社は色覚に配慮した配色のイラストを掲載している点についてあげられていました。以上報告書⑤について報告させていただきました。御審議のほどよろしくをお願いします。

図画工作科の教科書につきまして説明させていただきます。初めに報告書⑥を御覧ください。データの方は、28ページになっております。2つ目の項目、「内容」についてですが、開隆堂は、表現技法や材料、用具の知識として学びの資料として巻末に掲載しています。また、鑑賞作品と児童の活動を関連して扱い、造形的な良さを見つけられるページを掲載しています。社会とかかわる事例や取組を紹介する、「つながる造形」を掲載したり、コミュニケーション能力を高められる共同でできる題材を掲載しています。日本文教出版は形や色などを造形的な見方、考え方でとらえられるよう「図工の見方」を掲載しています。また、活動の場面ごとに学習をサポートする投げかけを掲載しています。学びを生活や社会につながるよう、「広がる図工」を掲載したり、感じたことや考えたことを伝えあう、「友達と作品を見て話そう」を掲載しています。次に3つ目の項目、「構成・分量・装丁」についてですが、2社ともA4判で1, 2上下, 3, 4上下, 5, 6上下にしています。開隆堂は育成する資質、能力をキャラクターで示し、中心となるめあてには、下線を引いています。また、資質、能力にあったキャラクターが活動のポイントを伝える構成にしています。日本文教出版は、育成する資質、能力が明確になるよう、学習のめあてでは、3観点に細分化して示しています。また、表現と鑑賞を横断して活動するよう、表現のめあてと鑑賞のめあてを分けて構成しています。次に4つ目の項目、「表記、表現」についてです。開隆堂は使用する用具や材料を、ページ左上に示しています。また、どのような資質、能力を身に付けたか確認できるよう、振り返りを右下に示しています。日本文教出版は、使用する用具や材料について左下に示しています。また、前習った用具が登場する題材で、適切な取り扱いの定着が図られるよう、「思い出そう」を左下に示しています。以上報告書⑥について報告させていただきました。次に報告書⑤を報告させていただきます。報告書⑤を御覧ください。データは29ページになります。1つ目の項目、「内容」についてですが、2社とも発想や構想、表現をすることにかかわるページや社会に関わるページを掲載しています。開隆堂はプロとして活躍する人のメッセージを巻頭に掲載し、日本文教出版は、全巻の巻末にアートカードの活用がわかるページを掲載して掲載しています。2つ目の「構成・分量・装丁」についてです。開隆堂は学習のめあての3観点をキャラクターで示し、重視したい部分を色を変えて掲載しています。日本文教出版は、育てたい資質、能力の3観点5項目を掲載しています。3つ目の項目、「表記、表現」につてです。開隆堂は、掲載している図版に題材名とともに

図版番号を記載し、日本文教出版は、既習事項を確認できる図や文を見開きページの左下に示しています。以上のような意見がありました。以上報告書⑤について報告させていただきました。御審議のほどよろしく申し上げます。

(会長)

はい、ありがとうございます。それでは、これより午前と同じように学識者分科会、校長分科会、保護者分科会の3つの分科会に別れて、御審議いただきたいと思います。その前にこれまでの説明や資料について全体に関わる御質問等はございますでしょうか。

では議事進行を事務局にお返しします。

(事務局)

野田会長ありがとうございました。これからは、学識者分科会、校長分科会、保護者分科会の3つの分科会に別れまして、御審議をお願いしたいと思います。また、分科会は午後3つ、3回転する予定なんですけども、そののちに10分程度休憩をとって、全体の審議を2時40分ごろから行いたいと思いますので、またこちらにお集まりいただければと思います。お手数ですが、御移動をお願いします。

【分科会審議】

(会長)

皆様分科会の審議ありがとうございました。分科会で出た意見等について御報告をお願いします。

(事務局)

初めに国語について報告します。学識者分科会では「見通しを持つ」という言葉がどのように掲載されているか話題になりました。それと2次元バーコードの横に説明があるのか、ないのかについても話題になりました。また、学年で1分冊なのか2分冊なのかについての御意見もありました。学校長分科会では本を紹介しているページについて話題になりました。読んだ本をチェックできるのか、できないのか話題になりました。物語教材において、学年の発達段階に応じた教材について意見がありました。また、目次の字の大きさについて話題にあがりました。保護者分科会では、教材について、物語と実用的な教材のバランスについて話題にあがりました。また、目次以外に見通しを持つページについて話題にあがりました。

続きまして、書写について報告します。学識分科会では、学習の進め方として、「振り返ろう」と「生かそう」の順序について話題が上がりました。右利きの児童と左利きの児童の「手だて」について話題にあがりました。学校長分科会では、振り返りの際の教科書の言葉の投げかけ方や教科書の学習のポイントの提示の仕方の丁寧さについて話題にあがりました。また、水書用紙についてや、毛筆をどう硬筆につなげていくか話題にあがりました。保護者分科会では、文字手本の掲載ページが右か左か話題にあがりました。また、書写の学びを日常につなげるために縦書きの事例や横書きの事例について話題にあがりました。

社会について学識者分科会では、3年生社会科学学習の進め方について、巻頭や単元の学習

の中で扱っているものがあり、社会科の見方、考え方を含めて、初めにとらえられるようにすることが大切であるとの意見がありました。学校長分科会では、学習する事例地として年間を通して同じ事例地としているもの、複数の事例地を取り上げているものがあることや、川崎市や神奈川県など身近な地域を事例地にすることについて意見があがりました。保護者分科会では、3社の構成に違いがあり、事象を浅く広く扱っていることや、SDGsの取り上げ方、教科書の分冊について、御意見がありました。

地図について、学識者分科会では、3年生が使用する視点から、地図とイラストの大きさやバランス、1ページの情報量、地図の掲載の順序や見せ方についての御意見があがりました。学校長分科会では、東京都とその周りの地図、関東地方南部の地図について比較し土地利用の色分け、川崎市の市の示され方について意見がありました。また、親しみやすさや丁寧さについて話題にあがりました。保護者分科会では、地図や統計の情報量、縮尺や索引の示し方、キャラクターの役割、日本の自然災害について御意見がありました。

理科について、学識者分科会では、観察や実験からまとめるのではなく、結果をもとに児童が考え、練り合う場面がしっかり設定されていること、まとめをして終わりではなく、生活に生かしたり、社会とつないだりするよう設定されていることが大事であるとの意見がありました。学校長分科会では、3学年で初めて学ぶにあたって、巻頭で生活科から理科に繋ぐページや設定が大切であること、また、安全、安心して実験が行えるよう、危険等の表示がはっきりと見えること、具体的な指示が書かれていること大事であること、ノートの作り方、教科横断的实践など巻末資料の充実について意見がありました。保護者分科会からは、大きさや重さ、2次元コードに関する意見や実験の場面で児童が自ら主体的に取り組むための工夫、児童が授業以外でも楽しく見られる工夫について意見がありました。

生活科について学識者分科会では、体験を中心とした生活科の学習を考えると、教科書の学習の流れに沿って、活動の見通しが持てるようになってきていること、資料的な提示がなされていることが、児童にとっても、授業者にとっても良いのではないかという御意見がありました。また、情報機器の使い方、情報モラルについての掲載がされていることが大切なのではないかという意見がありました。校長分科会では、学習過程がページの中でインデックスで示されるなど、学習の見通しが持てると中学年以降の学び方にもつながっていくのではないかという御意見がありました。保護者分科会では、イラストや写真の見やすさについて、多様性を配慮し車椅子の児童や多国籍の児童が記載されていることについて話題にあがりました。各社とも低学年の発達段階を配慮し図版的な資料があるのがとても良いとの意見がありました。

音楽科について御報告いたします。学識分科会では、音楽科の学習を通して子どもたちがこう歌いたい、この曲にはこんな良さがある、など自分の考えを持っていけること、そのためには、学習のまとまりを意識した題材の構成や、教材となる楽曲について多くの意見がありました。全学年で掲載している国歌についても、2社の違いについて御意見があり、他国の国歌について考えることができるコーナーなどは、川崎市の多様性にあっているとの御

意見もありました。校長分科会では、学習の流れや思考の流れ学習過程が明記されていることが児童にわかりやすいという点、題材の構成について題材のまとまりを見通していることが大切である等、御意見がありました。また、二次元コードは個別最適な学びの点で活用できる手だての一つであるとの御意見がありました。保護者分科会では、冒頭にある学習マップの2社の違いについて、また、音楽科の学習で子どもたちが楽しさを感じることができる教材について、教材と教材の関連がわかりやすいことが大切であるとのことについて、また、諸外国の歌など、他教科等との関連や、学習したことが社会とつながることについて御意見がありました。

図画工作科です。学識分科会からは、児童が表している過程の写真について、作家の作品の掲載について、ねらいや振り返り、他教科との関連に関する表記について御意見がありました。校長分科会からは、道具の安全な使い方の示し方、多様な作品の掲載について、ねらいの表記の示し方について御意見がありました。保護者分科会からは、道具の使用に関する内容、全身を使って表現する題材、生活や将来につながる題材等の話題があがりました。

(会長)

ありがとうございます。ではただいまの報告について御意見や御質問等はございますでしょうか。

全体を通しまして御意見、御質問はございますでしょうか。

長時間にわたり審議をいただきありがとうございます。本日の審議につきましては終了させていただきます。委員の皆様よろしいでしょうか。よろしければ挙手をお願いします。ありがとうございます。それでは事務局にお返しします。

(事務局)

野田会長ありがとうございます。また、委員の皆様大変お疲れ様でした。ありがとうございます。これもちまして本日の選定審議会に関する審議はすべて終了しました。本日審議いただいた内容につきましては、後日資料の⑦としてまとめさせていただきます。また御確認いただきたいと思います。その後、審議内容は教育委員会に答申させていただきます。

本日はありがとうございました。